令和３年3月17日

資料５－１

第４回練馬区食育推進ネットワーク会議

「ねりまの食育応援店事業」第７期部会活動報告

１　ねりまの食育応援店登録店舗数

　　令和３年3月17日現在　77店舗【資料５－２】

２　事業報告

　【第７期１年目】

|  |  |
| --- | --- |
| 平成31年４月 | ねりまの食育応援店事業実施要綱　登録証２次利用を付則 |
| 令和元年６月 | ねりまの食育応援店情報誌（第二版）発行 |
| ７月 | ねりま食育サミット開催  ねりまの食育応援店店主による食育講座を実施 |
| 10月 | 健康フェスティバルでの周知 |
| 11月 | JA東京あおば農業祭での周知 |
| 令和２年１月 | ねりまの食育応援店交流会開催（参加店舗数５店舗） |
| ３月 | 令和元年度登録店舗数70店舗 |

　【第７期２年目】

|  |  |
| --- | --- |
| 令和２年７月 | ねりまの食育応援店情報誌（第三版）発行 |
| 10月 | 健康管理アプリ（ねりまちてくてくサプリ）を利用した健康インセンティブ事業「近所で見つけるねりまの食育応援店！！てくてくサプリで楽しく歩こう！キャンペーン」実施 |
| 11月 | ねりまほっとラインでの特集（練馬の食育）の中で、ねりまの食育応援店を紹介 |
| 12月 | ねりまの食育応援店作成協力による、食育実践ハンドブック「野菜とれとれ！１日５とれとれ！（冬野菜レシピ集）」発行 |
| 令和３年３月 | 令和２年度登録店舗数77店舗 |

３　第７期部会活動報告

1. ねりまの食育応援店事業の周知方法について

　　　情報誌についてはアナログ世代には好評のため、継続して作成することが周知として有効である。若い世代はSNS等を利用しているため、区ホームページやアプリを充実させていく。

1. 登録店舗数の拡大について

　現在登録している食育応援店から店舗を紹介してもらい、店舗数を増やしていく。

1. 食育応援店イベント（販売会）の検討

　事業周知としては有効である。実施時期は店舗が忙しい時期を避け、５・６・９月頃で計画してはどうか。天候に左右されない場所での実施が望ましい。イベントを通じて、食育応援店同士や、農家、学校、JAを繋げられるとさらによいのではないか。

　④　食育実践ハンドブック「野菜とれとれ１１日５とれとれ！（冬野菜レシピ集）」作成

　　　ねりまの食育応援店の周知および野菜摂取量の向上を目指して作成した。ねりまの食育応援店の協力により、冬野菜を使用したレシピを提供してもらい冊子を作成した。また、より多くの方へ周知するために、応援店での配布はもちろん、図書館でも配布した。

４　第８期にむけて

1. 食育イベント等の企画、実施

練馬区健康づくりサポートプラン「６　地域と取り組むねりまの食育　⑵練馬ならではの食生活を推進」の主な取組として、ねりまの食育応援店の店主によるプロならではの知識や技を伝える食育イベント等の企画を挙げている。実施可能な時期、方法、周知等について、引き続き検討していく。

1. 食育情報の発信

第８期でも、ねりまの食育応援店の協力を経て、食育実践ハンドブック「野菜とれとれ！１日５とれとれ！（季節版）」を作成し、冊子を活用した食育の発信を実施していく。また、冊子を活用した食育の発信に加え、今後も幅広い世代に向けて、ホームページやアプリ等による食育情報の発信についても検討していく。